

## 転換は始まっている・・・！

実際に都心のオフィスは大きく様変わりし、最も賃料単価の高い1階に“みどり”が配され、低層部は商業施設で埋まり、従業員の憩いや生活支援の場となっています。

エントランスは5～6階位置し、そこにも“みどり”が溢れ、中には牧場もどきの動物がいたり、温泉が設置されフロアーがあったり、ビジネスのON/OFFと新しい発想を産む場として、勤務から解放される空間がある方が会社の利益向上となっているのでしょう。

逆に、郊外に林立した大型ショッピングモールの買・憩・楽を狙った集客装置は、顧客が求める地域貢献が少なく、暮らしの向上や人の繋がり場となり得ず必然的に衰退の道を辿っています。

アパートやマンションの共同住宅もしかりです。

老朽化し管理不足の集合住宅の収益は低下し、管理計画のいい加減なマンションは、新築物件が高騰しているのに売却値段が下落したりしています。

地域コミュニティとの接点を持たない共同住宅はただの巣箱として低評価される時代です。